

授業作り	重点	一人1台タブレット端末の効果的な活用法を探究し、生徒一人ひとりが主体的に学習に取り組める授業作りを目指す。
環境作り		教材の内容や提示方法の工夫、協働的な学びの実現に向けた学習形態の工夫などを通して、学びに向かう環境作りを目指す。

■ 各教科の取組について

教科	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子などから)	目標達成のための取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度実施の新宿区学力調査では、「漢字の読み書き」や「自分が書いた文章や話すときの原稿を見直すこと」について課題があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業や家庭学習において、デジタルドリルなどを活用し、反復学習を行うことを通して、「漢字の読み書き」の定着を図る。</li> <li>文章を整える学習を適時適切に取り入れることで、推敲する力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①デジタルドリルの活用</li> <li>②文章や原稿の推敲</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度実施の新宿区学力検査では、「式やグラフを用いて説明すること」について課題があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本用語を理解し、反復練習を行いながら知識の定着を図る。</li> <li>身に付けた知識を根拠として、解法について説明する活動を増やしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①デジタルドリルの活用</li> <li>②小集団での説明・発表</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度実施の新宿区学力調査では、「電流と電圧に関する分野」や「化学反応や質量に関する分野」について課題があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な化学反応について理解し、反復練習を行いながら考え方の定着を図る。</li> <li>身に付けた知識や考え方をもとにして、実験結果から考察を広げていく活動を増やしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①デジタルドリルの活用</li> <li>②レポートの作成の充実</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度実施の新宿区学力調査では、用語などを聞く短答式の問題に課題があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本用語などを理解し、知識の定着を図る。</li> <li>用語を使って記述をさせる機会を増やし、意味を理解しながら説明をする機会を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①デジタルドリルの活用 小テストの実施</li> <li>②ワークシートの工夫、用語を使った話し合い活動の充実</li> </ul>
英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度新宿区学力定着度調査では、「対話に応じた英文を書く力」と「長文の読解力」に課題があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面に応じた即興的な対話活動を帯活動として毎時間行い、表現力を高める。</li> <li>多様な英文に触れ書くことを習慣化し、読み取る力を伸ばす。</li> <li>1、2学年では反復練習や小テストを十分に取り入れ、基礎・基本となる語彙力を伸ばす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①即興的表現の帯活動</li> <li>②デジタルドリルの活用</li> <li>③少人数グループによる指導</li> <li>④ICT機器を活用したテストや発表活動</li> </ul>